

平成30年度一般会計決算の概要

● 歳入

定住人口の増加などに伴い、市税収入のうち個人市民税が前年度比1億9,501万円の増収になったことにより、市税全体では3億4,196万円の増収となりました。

また、市債は8億150万円、地方消費税交付金は2億1,896千円の増収となりましたが、一方で、土地売払収入の減収により財産収入が9億7,502万円の大幅な減収となったのをはじめ、繰入金が8億9,047万円、諸収入が3億6,439万円の減収となりました。

このような結果、歳入の決算額は、前年度比3億1,272万円、0.7%減の449億8,522万円となりました。

● 歳出

歳出については、基本計画「きさらづ未来 活力創造プラン」の最終年度として、施策事業の総仕上げを行うとともに、オーガニックなまちづくりのステップアップを目指して、これまでの取組みの成果と課題を検証し、持続可能なまちづくりを推進するための施策に取り組みました。

主な内容としては、新消防本部庁舎の建設を進めるとともに、はしご付消防自動車の更新を行うなど消防力の向上を図るとともに、防災行政無線のデジタル化整備などを行い、地域防災力の強化に取り組んだほか、近隣3市との共同による新火葬場の整備や次期広域廃棄物処理施設の整備に向けた基本構想の策定、官民一体となって電子地域通貨「アクアコイン」の導入、「木更津ネウボラ」の活用や民間保育園の施設整備への補助を行うことにより子育て環境の更なる充実を図るなど、基本計画に定めるまちづくりの基本方向に従い各種事業に取り組みました。

この結果、歳出の決算額は、前年度比5億4,786万円、1.3%増の432億1,264万円となりました。

● 収支の差し引き額

令和元年度に繰り越した事業を除く実質収支額は、7億9,823万円の黒字となりました（実質収支額のうち、4億9,823万円は財政調整基金へ積み立てました。）。